

[インデックスに戻る](#)

3. 図形と計量

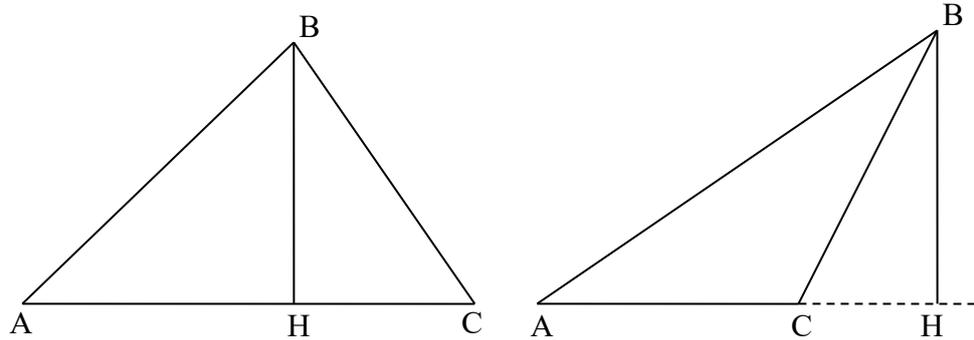
3-3. 図形の計量

3-3-1. 三角形の面積

3-3-1-1. 正弦を用いた面積の公式

三角形の面積を、内角の正弦を用いて表すことができる。

(i) $\angle A$ が鋭角の場合



頂点 B から直線 AC に下ろした垂線の足を H とする。三角形 ABH は $\angle H = 90^\circ$ の直角三角形だから、

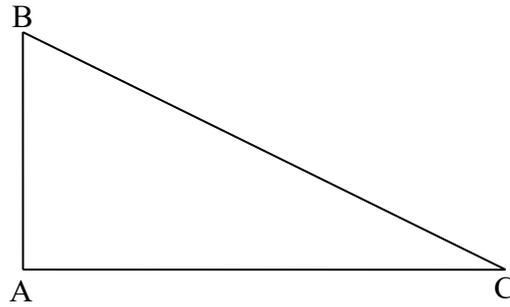
$$\frac{BH}{AB} = \sin \angle A$$

$$BH = AB \sin \angle A$$

したがって、三角形 ABC の面積は

$$\begin{aligned} & \frac{1}{2} AC \cdot BH \\ &= \frac{1}{2} AC (AB \sin \angle A) \\ &= \frac{1}{2} AB \cdot AC \sin \angle A \end{aligned}$$

(iii) $\angle A$ が直角の場合



三角形 ABC の面積を S とする。 AC を底辺とみると、 AB が高さである。よって

$$S = \frac{1}{2} AB \cdot AC$$

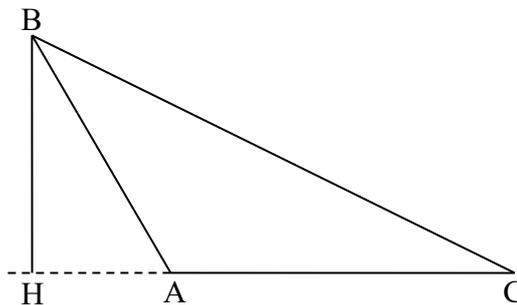
$\angle A$ が直角だから

$$\sin \angle A = 1$$

よって、

$$S = \frac{1}{2} AB \cdot AC \sin \angle A$$

(ii) $\angle A$ が鈍角の場合



頂点 B から直線 AC に下ろした垂線の足を H とする。三角形 ABH は $\angle H = 90^\circ$ の直角三角形だから、

$$\frac{BH}{AB} = \sin \angle BAH$$

$$BH = AB \sin \angle BAH$$

したがって、三角形ABCの面積は

$$\begin{aligned} & \frac{1}{2} AC \cdot BH \\ &= \frac{1}{2} AC (AB \sin \angle BAH) \\ &= \frac{1}{2} AB \cdot AC \sin (180^\circ - \angle A) \\ &= \frac{1}{2} AB \cdot AC \sin \angle A \end{aligned}$$

$\angle B$ 、 $\angle C$ に着目しても同様である。まとめると、次のようになる。

三角形の面積と正弦

三角形ABCにおいて、 $BC = a$ 、 $CA = b$ 、 $AB = c$ とする。三角形ABCの面積を S とすると、 S は次の式で表される。

$$S = \frac{1}{2} bc \sin \angle A = \frac{1}{2} ca \sin \angle B = \frac{1}{2} ab \sin \angle C$$

(例)

$AB = 4$ 、 $AC = 3$ 、 $\angle A = 60^\circ$ の三角形ABCの面積を S とすると

$$S = \frac{1}{2} \cdot 4 \cdot 3 \cdot \sin 60^\circ = 3\sqrt{3}$$

[インデックスに戻る](#)